

令和5年度 公の施設目標管理型評価書【歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等】

施設名	新潟市歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等		
管理者名	(公財) 新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区柳島町2-10ほか		
根拠法令	博物館法, 文化財保護法		
設置条例	新潟市歴史博物館条例, 旧新潟税関庁舎等管理条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市歴史博物館 敷地面積 22,769.23㎡(旧新潟税関庁舎等含む) 施設 博物館本館(延床面積5,508.30㎡):常設展示室,企画展示室,体験の広場 他 登録有形文化財旧第四銀行住吉町支店(延床面積919.50㎡) 屋外施設:広場,堀,園路,駐車場他</li> <li>・旧新潟税関庁舎等 施設 重要文化財旧新潟税関庁舎(延床面積393.38㎡),石庫,史跡旧新潟税関</li> </ul>		

施設設置目的	
新潟市域の歴史的特性を明らかにし,市民の歴史に対する理解を深めるとともに,歴史を媒介とした市民交流を行うことにより,市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として設置する。	
管理・運営に関する基本理念,方針等	
<p>1. 基本理念 資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし,展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして,市民とともに地域認識を深め,市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会や場を提供する。また,市民や利用者が,地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め,博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。</p> <p>2. 管理運営方針 ①新潟市域の歴史的特性を明らかにする。 ②市民の歴史に対する理解を深める。 ③歴史を媒介とした市民交流を行う。 ④市民の文化的・歴史的活動に寄与する。 ⑤文化財を保存・活用する。</p>	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	年間入館者数	博物館本館への年間入館者数77,000人以上	78,781人	A	
	調査・研究の成果	館オリジナルの企画展を年4本以上実施	5本	A	自主事業の企画展を1本追加し,入館者数増を図った
		歴史に関する講演・講座等を年40回以上実施	72回	A	
		体験プログラムを年60件以上実施	68件	A	
		展示図録を年2回以上発行	3回	A	「長井雲坪」展、「川村修就と新潟」展、「1964」展の図録を発行した
		研究紀要を年1回発行	1回	B	
	施設普及事業の実施	収蔵資料の公開を年3回以上実施	11回	A	企画展以外にも常設展の展示替え,昨年度に引き続きエントランスホールでのミニミニ展示など公開の機会を増やした
近隣地域と連携した普及活動を年3回以上実施		3回	B		

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価 コメント
	学校との連携	施設訪問への対応や出前授業・講義など、各種学校との連携事業を年90回以上実施	107回	A	
	歴史文化事業の情報発信	ホームページ等を月4回以上更新し、情報発信を行う	都度更新	A	日々情報発信に努めている
		博物館ニュースを年3回以上発行	3回	B	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「良い」「とても良い」が70%以上	99.1%	A	
	歴史を媒体とした市民活動の場の提供	市民ボランティアスタッフの活動する機会を年100回以上	240回	A	
	苦情・要望に対する対応	来館者からの苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	都度迅速に対応	B	
	その他	博物館ファンクラブ会員数を140人 以上	R6.3.31時点112人	C	
博物館ファンクラブ会員の活動件数を年7件以上実施		9件	A		
財 務	管理経費の縮減	管理経費を指定管理料年度協定額（管理費）以下	協定額： 208,072,247円 管理費： 207,688,403円	B	
	市の歳入の安定確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合35%以上	73.8%	A	
業 務	他施設・機関との連携	市関連機関・団体との情報共有の会議を年1回実施	3/7開催	B	
	日常連絡の適切さ	市への連絡訪問を月6回以上実施	月6回以上実施	B	
		3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	期限内に提出	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	年2回（6/30・1/26）実施	B	防災訓練のほか、安全体制確保の向上が図れるようAED講習を9/6に実施した。
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定に基づく適正な管理の実施	実施した	B	
		旧新潟税関庁舎等管理条例施行規則に基づく監守業務の適正な実施	実施した	B	
	歴史資料の適正な収集保存管理	施設内でのくん蒸を年1回以上実施	①6/4～6/6に実施 ②12/1に実施	A	資料が良好な状態を保てるよう管理した
		展示室収蔵庫内の温湿度の定期調査を実施	毎日実施	B	
		文化財害虫の定期調査を実施	定期的に実施	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	1/25～2/29オンラインで各自受講	B	
施設設備関係の各種法定点検の確実実施		建築物における衛生的環境の確保にかかる法律、消防法等にかかる法定点検を実施	B		
事件・事故発生時の対応の適切さ	マニュアル・連絡網の定期的な見直し（半期に1回）	都度更新	B		
業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B		

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
人 材	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を8人以上配置	9名 (3/31現在)	A	指標を上回る人員を配置している。
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年4回以上実施	11回 (コンプライアンス研修含む)	A	
	接客マナーの維持・向上	受付職員等への接客研修を年1回以上実施	同業の受付スタッフの接客の現場視察 (11/1～11/30)	B	

#### 指定管理者記載欄 (アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

昨年度に引き続き、企画展に絡めたなぞときを実施したほか、お正月にはおみくじコーナーを設けるなど来館した方が楽しめるような工夫を凝らしたこともあり、来館した方の満足度は高かった。しかし、来館者は目標数77,000人は達成したものの、昨年度より9,000人程度減少したこと、ファンクラブの目標会員数は達成できず、情報発信について今までとは別な方法を取り入れる必要性を感じており、インスタグラムの発信数を増やす等し、引き続き努力はしていきたい。

また、当館の来館者の特徴として高齢者が多数であり、高校生の来館者数は少ないことから、高校生に当館の魅力を知ってもらうきっかけ作りとして、令和5年度は高校生ボランティアスタッフの募集をかけた。集まった高校生は20名程度だったものの、普段関わる機会の少ない高齢スタッフとの異世代間交流や他校の生徒たちとの交流の場ともなり、コミュニケーション能力向上や協調性が培われる機会にもなったことは意義深い。これは学校教育だけでは得られない教育効果であり、博物館には展示だけではなく、様々な資源・価値・魅力があることを発信していき、市民や利用者になくてはならないような存在になるよう今後も運営に工夫を凝らしていきたい。

#### 所管課による総合評価 (所見)

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により人の流れが回復し、目標を上回る入館者数となった。

入館者数は目標数を達成したが、令和4年度と比べると9,000人程度減少しているため、若い世代への情報発信等、入館者数の増加に向けたさらなる取り組みに期待する。

エントランスホールでのミニミニ展示や、企画展に絡めたなぞときの実施、お正月におみくじコーナーの設置といった来館者が楽しめるような工夫を行ったり、高校生に博物館の魅力を知ってもらうきっかけ作りとして高校生ボランティアスタッフを募集したり、さまざまな角度から博物館の魅力を伝えるための取り組みを行ったことを評価する。

引き続き創意工夫をこらした取り組みや、積極的な情報発信等を行い、市民文化の向上と地域の活性化に役立ってほしい。